

駿河湾のルビー“桜えび”の秋漁真っ最中！



適しています。



桜えび漁は、桜えびの産卵や成長を保護し、獲りすぎることを防ぐために、それ以外の時期は漁を行ってはいけない「禁漁期間」を定めています。そのため、3月下旬から6月上旬の春漁と、10月下旬～12月下旬の秋漁に行われています。

の秋漁は、12月25日まで行われる予定です。



キラキラ輝く桜えびは、駿河湾のルビーと言われています。

じずまえ新聞

平成29年
11月号

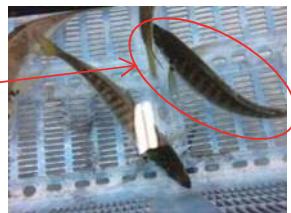
発行元
静岡市役所
水産漁港課
じずまえ振興係

魚の仕組みを大解剖！

しづまえクイズ！！

お魚は状態によって数え方が変わります。
全部分かるかな！？（答えは裏面へ！）

①生きている
状態では…



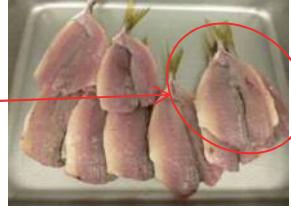
1 ()

1 ()



1 ()

③背開き、3枚おろし、2枚おろしなどさばかれた状態…



1 ()

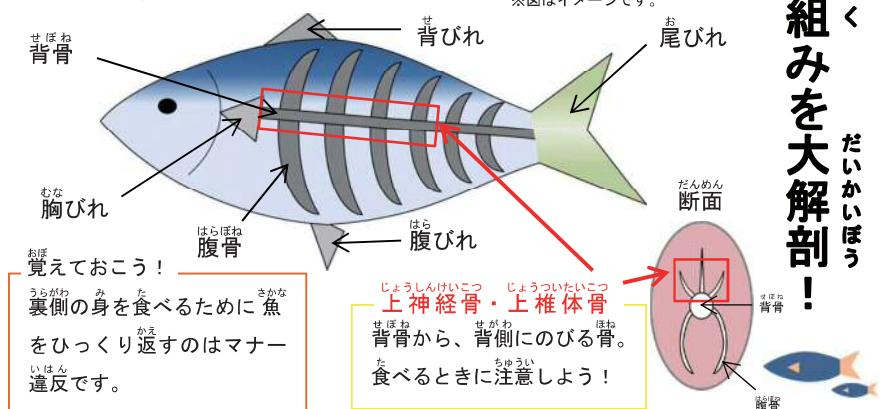
④お刺身として食べるとき…



1 ()

魚には、骨があります。魚のどこに、どんな骨があるかを知つておけば、焼き魚を食べるとなど、おいしく食べることができます。

※図はイメージです。



ここで復習！「しづまえってなあに？？」



しづまえは、静岡市の駿河湾沿岸地域のことです、
由比漁港・清水漁港・用宗漁港の3つの港がありま
す。しづまえでは、たくさんの種類のしづまえ鮮魚
が水揚げされます。

しづまえは、静岡市の駿河湾沿岸地域のことです、
由比漁港・清水漁港・用宗漁港の3つの港がありま
す。しづまえでは、たくさんの種類のしづまえ鮮魚
が水揚げされます。

由比の漁師さん手作り！！／

りょうしだま 漁師魂

漁師魂は、カマス・メイゴ・タチウオなどをすり身にして、ボイルしたもの。

由比の漁師さんが漁の合間に手作りしています。

素揚げにして熱々をいただくと格別においしいじや！
みそ汁やお鍋の具にするのもオススメじゃ！

～まぐろのまち静岡～

清水港は冷凍マグロの水揚げ日本一！

平成28年度の調査によると、清水港に水揚げされる

冷凍マグロの水揚げ量は全国第1位でした。

まるで消費される冷凍マグロの約半分です。

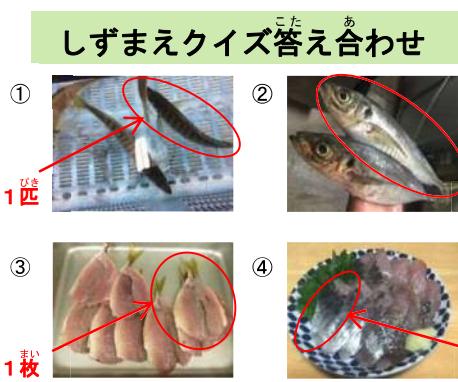
日本の冷凍マグロの水揚げ量の合計は約23万トン

清水港以外	清水港
11.32万トン	11.88万トン
48.8%	51.2%

清水港以外の合計は約23万トンで、清水港が約51.2%を占めています。

清水港には、世界中の海で獲れたマグロが冷凍されて運ばれてきます。その量は、日本

水揚げされた冷凍マグロは、マイナス70度の冷凍庫に一旦保管されます。その後、日本各地の市場やお魚屋さんに出荷されています。



は見た目がよく似ています。
3種ともスズキ目アジ科ブリ属の仲間です。このトリオは、ブリ御三家という愛称で呼ばれています。

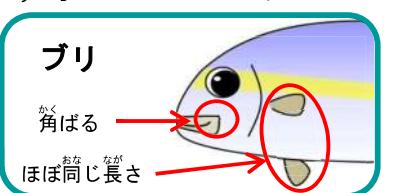
ブリ御三家は、刺身や塩焼き、煮つけにするなど、美味しい食べ方がたくさんあります。お魚屋さんやお寿司屋さんで見かけた際には、食べ比べてみたいですね。

突撃 漁師さん！～桜えび漁師編～

さくら 桜えび漁師、山崎直哉さんにお話を伺いました。

「桜えび漁がない時には、漁師の仲間と一緒に、新商品の研究をしています。多くの皆さんにお魚のおいしさを知つてもらうために、これまでに漁師魂や、桜えびの沖漬けなどを開発しました。現在は、しらすの漁師漬けの商品化に取り組んでいます。」と話してくれました。

ブリ
ブリ、カンパチ、ヒラマサは見た目がよく似ています。



カンパチ
眼をななめにかかる黄色のラインが特徴

